

総務政策委員協議会記録

開会年月日	平成 28 年 9 月 1 日
開会時刻	午前 9 時 59 分
閉会時刻	午前 10 時 27 分
出席委員名	◎福井 輝夫 ○野崎 隆太 鈴木 豊司 吉井 詩子
	岡田 善行 黒木騎代春 西山 則夫 工村 一三
	世古口新吾
	中山 裕司 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	山口 徹
協議案件	1 地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証について
	2 所管事業の平成 28 年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査の実施について
説明者	情報戦略局長、情報調査室長、企画調整課長
	環境生活部長、市民交流課長、市民交流課副参事
	総務部長、総務部参事
	その他関係参与

協議の経過

福井委員長開会宣言後、直ちに会議に入り、「地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証について」、「所管事業の平成28年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査の実施について」の以上2件を協議され、その概要は次のとおりでした。

開会 午前9時59分

◎福井輝夫委員長

ただいまから総務政策委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

本日御協議願います案件は「地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証について」と「所管事業の平成28年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査の実施について」の以上2件であります。

これより会議に入ります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

【地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証について】

◎福井輝夫委員長

初めに「地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証について」を御協議願います。

当局からの説明をお願いします。

情報戦略局長。

●中川情報戦略局長

本日は、お忙しい中、総務政策委員協議会を開催いただきまして誠にありがとうございます。

本日御協議願います案件につきましては、当局といたしましては、委員長仰せのとおり、「地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証について」の1件でございます。

担当課長から御説明申し上げますので、よろしく願いいたします。

◎福井輝夫委員長

企画調整課長。

● 辻企画調整課長

それでは、地方創生先行型交付金を活用した事業の効果検証につきまして、御説明を申し上げます。

これは、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）」、いわゆる「地方創生先行型交付金」を活用した事業の実績・効果について、外部有識者による効果検証のほか、議会の御意見をお伺いするものでございます。

恐れ入ります。資料 1－1 をごらんください。

1 の経緯につきましては、国の平成 26 年度補正予算において、地方創生先行型交付金が 1,700 億円措置され、そのうちの 1,400 億円が平成 26 年度に基礎交付分として、人口、財政力指数等に基づき全国の自治体に交付され、また残りの 300 億円これについては、先駆的な事業や、平成 27 年 10 月 30 日までに地方版総合戦略を策定する自治体を対象に上乗せ交付分として、平成 27 年度に交付をされました。

交付に当たっては、実施計画を策定し、交付対象事業に係る平成 27 年度中の重要業績評価指標、これを K P I といいますが、K P I を設定して検証を行うこと、また、交付対象事業については、地方版総合戦略に位置付けることが条件とされておりました。

こうした流れに沿って、記載のとおり、国に実施計画を提出し、また昨年 10 月 27 日には「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、これが先ほど申し上げました地方版総合戦略でございますが、こちらを策定して本年 6 月、外部有識者で構成をする「伊勢市まち・ひと・しごと創生会議」に効果検証について諮問をし、7 月に答申をいただいたところでございます。

なお、今回の効果検証については、2 の根拠に記載のとおり、内閣府事務次官通知に基づき実施するものでございます。

先ほど申し上げました「伊勢市まち・ひと・しごと創生会議」こちらへの諮問、答申内容を 3 でお示しをしておりますが、こちらにつきましては、記載のとおりでございますが、答申では、すべての事業が総合戦略の K P I 達成に有効であったと評価をいただきましたが、各事業における K P I と総合戦略で示す K P I との関連性が弱いものや、既に総合戦略で示す K P I の目標値を達成しているものがあることから、K P I の見直しを今後の課題とするよう、御意見をいただいております。

恐れ入りますが、資料 1－2 の 1 ページをごらんください。

こちらは交付対象事業の一覧表でございますが、合計で 12 事業、交付金実績額は 1 億 1,321 万 1 千円でございます。

内訳といたしましては、基礎交付分が 10 事業で交付金実績額が 9,801 万 1 千円、上乗せ交付分のうち先駆的な事業に交付されるタイプ I というものが 1 事業で 520 万円、平成 27 年 10 月 30 日までに地方版総合戦略を策定した自治体に交付されるタイプ II が 1 事業で 1 千万円でございます。

このうち青字で表記したものが総務政策委員協議会関係分でございますが、基礎交付分の「1 伊勢市総合戦略策定事業」、それと「2 シティプロモーション推進事業」、そして「3 出会い結婚支援事業」、こちらの 3 事業でございます。

それでは各事業について御説明申し上げますので、まず 3 ページをお開き願います。

こちら「伊勢市総合戦略策定事業」でございますが、担当所属は、企画調整課と情報調査室で、総事業費 970 万 9,968 円、交付金実績額は 946 万 3,968 円でございます。

事業内容欄に記載のとおり、「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定」及びその基礎となる「伊勢市人口ビジョンの策定」に係るものでございまして、人口ビジョンにつきましては、アンケート調査の実施・作成支援を外部委託し、また成果品を印刷製本するとともに、職員研修のほうを実施いたしました。

伊勢市総合戦略につきましては、「まち・ひと・しごと有識者会議」の開催・パブリックコメント等を経て、昨年 10 月に策定・公表いたしております。

本事業は、総合戦略の策定ということから、総合戦略区分というのを記述する欄がございますが、こちらについては記載はございません。

外部有識者で構成をいたします「まち・ひと・しごと創生会議」からは、総合戦略の K P I 達成に有効であったとの評価を得ております。

4 ページをお開き願います。

次に、シティプロモーション推進事業でございますが、担当所属は企画調整課、市民交流課で、総事業費は 646 万 2 千円、交付金実績額は 636 万円でございます。

本事業の K P I は、メディア等での露出件数で、指標値 5 件に対して、実績値は 53 件でございました。

目標を大幅に上回っているということから、事業効果は、非常に効果的であったとなります。

事業内容でございますが、推進計画の策定といたしまして、市民及び市外アンケート調査等の実施、外部有識者によるシティプロモーション懇談会やワークショップ等を開催し、シティプロモーション推進計画というのを策定いたしました。

また、プロモーション活動といたしまして、結婚情報誌ゼクシィとのコラボレーションによる、ご当地婚姻届、及びご当地出生届の制作・運営を行いました。

総合戦略区分は、総合戦略における本事業の位置づけでございますが、基本目標は「伊勢への新しい人の流れをつくる」、施策の基本的方向は「移住の推進」、具体的施策は「シティプロモーションの推進」に位置づけられます。また、総合戦略の K P I は「各種メディアへの掲載件数」を設定いたしております。

外部有識者による「まち・ひと・しごと創生会議」におきましては、本事業は総合戦略の K P I 達成に有効であったとし、またその背景としてサミット開催の影響が大きいとしながらも、目標値と実績値との乖離が大きいことから、目標指標値の見直しの検討が必要との御意見をいただいております。

実績値を踏まえた今後の事業方針につきましては、推進計画に基づく取り組みを進めることで本市の魅力が高まると考えますので、事業を継続してまいりたいと存じます。

次に、5 ページをごらん願います。

出会い結婚支援事業は、昨年 10 月 21 日に開設をいたしました「いせ出会い支援センター」の設置・運営に係るものでございまして、総事業費は 990 万 1,473 円、交付金実績額は 954 万 1,268 円でございます。

本事業の K P I は、同センターへの来所又は電話等による利用件数でございまして、指標値 800 件に対して 1,055 件の実績がございました。

事業内容につきましては、拠点施設の運営委託及び開設当初の施設の改修及び施設の賃借等でございます。記載のとおり、昨年10月21日の開所から、年度末までに来所者795名、電話相談126件、メールによる相談134件、こういった御利用があったほか、セミナー、出会いイベント等を開催いたしました。

総合戦略における本事業の位置づけは、基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、施策の基本的方向は「結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援」、具体的施策は「出会い・結婚への支援」に位置づけられ、また総合戦略と本事業のKPIは同じものとなっております。

「まち・ひと・しごと創生会議」の評価は、本事業は、総合戦略のKPI達成に有効であったとし、結婚等に結びついたかどうかの追跡調査があれば、なお良いとの評価を得ております。

実績値を踏まえた今後の事業方針につきましては、想定以上に需要が高く、相談内容を検証するなどしてより効果の高い取り組みが可能となることから、追加等さらに発展させてまいりたいと考えております。

以上、今回は、国の指示に基づき、地方創生先行型交付金を活用した事業に係る効果検証を行ったものでございます。

総合戦略全体につきましても検証を行い、今後、改めて議会に御報告申し上げたいと考えておりますので、御理解のほど、よろしくお願い申し上げます。
以上でございます。御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

◎福井輝夫委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はございませんか。
吉井委員。

○吉井詩子委員

おはようございます。ただいま説明いただきました事業のうちシティプロモーション推進事業についてお聞きをいたします。

ただいま説明いただきましたように目標値と実績値、メディア等での露出件数に対する数字なんですけど、確かに差が大きいというふうに感じます。

そこで、シティプロモーションは戦略的という言葉が何度も使われていると思うんですが、その割にこういう指標にしたというのは、どういうことなのかなという、ちょっと気持ちがあるんですが、そこでお伺いしたいのが、このメディア等での露出の内容について、少し教えていただきたいと思っております。

◎福井輝夫委員長

企画調整課長。

●辻企画調整課長

ただいまの御質問でございますが、確かにこれが、外部有識者の皆さんから乖離が大きいということで、私ども当初、いろんな取り組みをしていく中でですね、新聞、それから、

テレビ等での取り上げていうことで、見積もりが甘かったというところも実際にございまして、この点については、今後見直しが必要かなというふうに思っております。

後段の実績としてどういうものがあつたかというお尋ねでございますが、私どもで把握した内容といたしまして、まず新聞のほうでの取り上げられた件数、こちらが、主要な新聞中日、伊勢、毎日、朝日、読売さんとこういった新聞で取り上げていただきましたのが38件でございます。

また、テレビの番組で取り上げていただきましたもの、これは情報番組とかが中心でございます。映画とかドラマとかそういったロケいうものではなく、情報番組で取り上げられたテレビでの回数が15ということで、38件と15件、あわせまして、53という実績にしております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

わかる範囲でというところで、実際はもっと、いろいろとドラマなんかでも、あつたんだらうなど。

また通販の番組等で、そういうところ巡ったりとかいろいろあつたんだらうというふうに考えますが、このシティプロモーションにおける露出ということですので、例えばここでプロモーション活動で、御当地婚姻届とかこういう事業をなされている。こういうことが報道されたのか、それとも、サミットも関連して、観光ということ主体に報道されたのか、どちらのどういう内容だったのでしょうか。

◎福井輝夫委員長

企画調整課長。

●辻企画調整課長

いろいろな内容がございまして、例えば、新聞で申し上げますと、外部有識者からの指摘にもございましたがサミットに関する、決定してからのものがございまして、あとは情報発信の関係、情報発信センターの取り上げた件数とか、あるいは、これとは別に、地方創生のほうで取り上げておった、政府機関の移転の話であつたりとか、あとは、このあたりのテレビ番組ですと、このあたりの風土っていうんでしょうか、旅番組のような、こら辺の文化とか歴史とか、そういったものを取り上げられたもの、そういったものが、今回計上させていただいた内容でございます。

◎福井輝夫委員長

吉井詩子委員。

○吉井詩子委員

わかりました。ということは戦略なんです、これはメディア側の戦略にのつたものと

いうふうに捉えることができますので、今後は、こちらの戦略にメディアをのせていくというふうに取り組んでいただきたいと思いますので、その辺の観点で、今後このK P Iの設置でありますとかどのようにお考えでしょうか。

◎福井輝夫委員長
企画調整課長。

●辻企画調整課長

今、そういった御意見をいただきましたので、ちょっとまた設定のほう考えさせていただきたいと思いますし、これからいろいろと積極的にこちらのほうからも戦略的に情報の発信していきますので、そういったものができるだけ取り上げていただいて、この件数に計上していただけるように、また、頑張ったいと思います。

◎福井輝夫委員長
ほかにございませんか。
岡田委員。

○岡田善行委員

すいません、私のほう出会い結婚支援事業を聞かせてください。

こちらのほうでK P I、重要業績評価指標は有効であったということで、その意見のほうで、結びついたか追跡調査があればなおよい、という話になっております。

ただ、過去に聞いた話ですと追跡調査は難しいと、ここでも答弁もらってると見学行ったときにも、それは難しいですよという事業所からのお話も聞いております。

こういう点、どう今後されていくのかお聞かせください。

◎福井輝夫委員長
市民交流課副参事。

●鈴木市民交流課副参事

今委員おっしゃっていただいたとおりでございますが、今後、県のほうでも同じような事業をしている中で、この件に関しては、問題とか課題というふうになっておりますので、また県とも相談しながらですね、市のほうでも考えていきたいと思っております。

◎福井輝夫委員長
岡田委員。

○岡田善行委員

わかりました。今後考えていくということでしたら、やはりこういう事業は、どんだけ結びついたか、やりましたというだけではただのほんとお金のむだ遣いと思っております。

そういう点も考えると、今度実績でどれぐらいできたというのも追跡調査していただき

たいと思います。

次ですが、追加等さらに発展させるという話が下に出てるんですが、こちらのほう何か今後の具体的な施策があるんなら教えてください。

◎福井輝夫委員長

市民交流課副参事。

●鈴木市民交流課副参事

このセンターを設立というか、オープンさせた当初は、まずはこの伊勢市近辺というかこのあたりで、出会いの場がまずないというふうなアンケートとかの調査結果が多かったですので、まずは出会いの場をつくる、ふやすということがまず一つの目的でありました。

それで次の段階です、そのふやしていくということも、まだまだ必要なんですが、そのイベントとかに参加をして行きやすいものにする、内容とか質ですね、そちらのほうをさらに良いものにしていくんだとか、参加してもらおう、結婚しようとしている人たちへのスキルアップというかレベルアップというか、そういうふうなことも考えていきたいと思っています。

◎福井輝夫委員長

岡田委員。

○岡田善行委員

わかりました。今後の施策としては今やっていることの延長上でさらにパワーアップしていくっていう感じに今聞こえましたけども、やはりあの、先進事例愛媛とかも見させてもらっていましたが、事業所さんのほうは対一のお見合いとか、そういうのは難しいと言ってるんですが、やはり県とも話をするんなら県全域でそういう出会いの場も求められることできると思いますので、今後また対一のお見合いとかそういうところまでも踏み込んだ議論をしていただきたいと思います。

今現在ですね、50歳の方が2014年の統計ですけど、生涯未婚率、要は50歳まで結婚をしたことがないっていう人がもう男20%、女の方で10%、となっております。

そう考えると今後晩婚化で、さらにまだこれからの世代というのはもっと晩婚化になりまた生涯独身、結婚経験がないという未婚率っていうのが上がってきそうな感じがしておりますので、どうかできる限りいい施策を持ってやっていただきたいと思いますので、お願いいたします。

◎福井輝夫委員長

ほかに御発言ございませんか。

黒木委員。

○黒木騎代春委員

私は、全体にかかわってちょっとお伺いしたいんですけども、昨日、決算カードいただ

きまして、それ見ますとその国勢調査の比較です、減少率が、前回と比べて減つとるというふうな部分ですけども。

これ対してはこの総合戦略の今後の展開の上です、どんなような考えをお持ちか。何か要因とかそんなことで何か考えがあるかどうか、お聞かせいただきたいと思ひます。

◎福井輝夫委員長
情報調査室長。

●浦井情報調査室長

今回の国勢調査の結果につきましては、ただいまの速報値っていうことで出ておるわけですけども、12万7,868人っていうふうなのが、総務省からの速報っていうことで出ております。

今回、この総合戦略につきましては、人口減少に歯止めをかけるというところから始まっておりまして、その基礎資料としてつくりました人口ビジョンの展望によりますと、この平成27年の数字としては12万5,200人っていうふうなものを展望っていうふうな数字にしておりました。

その結果からたしますと、2,668人多かったというような数字になっておりますので、数字だけ見させていただきますと、人口減少が鈍化した。ていうふうな、数字なのかなと思っております。

ただしこれは一定的な数字になっておりますので、今回の5年間の総合戦略の取り組みの中で、全体的に最終的には総括をする中で、人口減少がどのような状態なつとるのかっていうことを見ていくことになると思っておりますので、この国勢調査の1年の数字だけで評価するということは、ちょっと難しいんやないかというふうに思っております。

◎福井輝夫委員長
黒木委員。

○黒木騎代春委員

この総合戦略というぐらいですので、人口をふやす、あるいは社会的に人口、ここに来てもらうという手だて、いろんな取り組みが絡み合ってくると思ひますけれども、伊勢市の場合その定住促進に当たっては、どのような課がかかわってどのような連携をして、やっていこうとしているのか。その辺についてもちょっと教えていただきたいと思ひます。

◎福井輝夫委員長
企画調整課長。

●辻企画調整課長

定住促進というお尋ねございませうが、一課だけでできるようなものではなくて、トータル的にということになってこようかと思ひます。

今回、総合戦略を立てまして、こちらに関しては、定住とそれから移住というのでしよ

うか交流、そういうのトータル的に見て人口減少を抑制していこうということでもあります。

現在、特についていうあれではないですが、この取り組み当課のほうが中心に計画も策定しておりますので、定住に関しては、例えば定住自立圏の取り組みは既に広域で行われておったりですね、あと、シティープロモーションの取り組みに関しても、単に市外から人を呼ぶというだけではなく、市民の皆さんにも、この町がいいまちであるっていうことを、再確認いただいて、ずっと住んでいただけるように、例えば定住に関しては当然雇用の話もございますし、子育てとか、いろんな話に関連してまいりますので、そういうのはトータルで庁内で調整しながら進めてまいりたいというふうに考えております。

◎福井輝夫委員長

黒木委員。

○黒木騎代春委員

わかりました。他の自治体では定住促進課っていうですね、設けて、この総合戦略全体をですね、束ねるような役割をして、かなりイメージ的にも分けやすいというようなことで工夫しとる事例も見とるんですけども、伊勢市の場合はそういうような、課をつくっていくってというのはそういう発想はありませんか。

◎福井輝夫委員長

情報戦略局長。

●中川情報戦略局長

今後、委員仰せのような形というのは、可能性としてはあるかとは思うんですか、ただ現時点ではですね、横の連携、関係各課と連携をとりながら進めていきたいと考えております。

◎福井輝夫委員長

黒木委員。

○黒木騎代春委員

私ちょっと事前にお伺いしたんですけども、やはり、結果として次回の国勢調査の時点で人口がふえておるよというよな、スタンスで取り組んでいくっていうんですけど。年度年度でも見ていく必要があると思うんですけども。例えば、出生数、あるいは婚姻数、そういうのをですね、統計としてはとってござると思うんですけども、そういうものも、その時点で、前年比で比べるだけじゃなしに長期的に折れ線グラフでわかるよな形で、市民にも、お知らせしていくっていうことで、例えば、出生率が上がったら非常に嬉しいことやということですね、市民にも希望を与えるよな形で人口減対策に市民総出でですね、取り組んでいけるよな、思いが起るよなですな、そういう演出も必要やないかなと思うんですけども。

そういう意味で毎年毎年そういう数字もですね、わかるよなにしていくっていうことが、

大事やないかと思うんですけど、その辺についての考えを伺って終わりたいと思います。

◎福井輝夫委員長

企画調整課長。

●辻企画調整課長

ありがとうございます。

最初の説明の中でも、お話をさせていただきましたが、今回は、先行型交付金に対する検証という国からの通知で行わせていただいておりますけれども、総合的にですね、どういうふうな状況であるかというのを、また改めて議会に御報告させていただきたいと思いますが、進行管理という形になってこようかと思っておりますけれども、どういう形でそれをお示しするかっていうのは、今おっしゃっていただいたようなことも踏まえながら、また整理をさせていただいて、その進行管理のほうは今後、5年間の計画を立てましたので、おって、皆さん方と共有させていただきながら進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎福井輝夫委員長

ほかに御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他に御発言もないようですので、本件についてはこの程度で終わります。

【所管事業の平成28年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査の実施について】

◎福井輝夫委員長

次に「所管事業の平成28年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査の実施について」を御協議願います。

本件につきましては、主要な事業について、常任委員会別に執行機関から事業の進捗状況や予算の執行状況等について報告を受けることになっております。

昨年度は11月26日に実施し、6事業について報告をいただきました。

過去の選定事業については、資料2の1ページ、年度別選定事業表のとおりです。

今年度も、5事業程度を決定し、12月定例会までに実施することとしたいと思います。

資料2の裏面、2ページ、平成28年度歳出予算、款別説明書をごらんください。

この資料は、当初予算資料の総務政策委員会所管課事業一覧のうち、正副委員長で相談し、あらかじめ10事業を選定したものであります。

今後の進め方でございますが、委員の皆様から報告の対象としたい事業がありましたら、本資料を参考に9月12日月曜日までに、事務局の担当書記へ御報告を願いたいと思います。

委員から報告された事業及び正副委員長の選定いたします事業から、5事業程度を選定

し、9月定例会中の常任委員会で決定し、あわせて、閉会中の継続調査の申し出も決定したいと思います。

この件について、委員の皆様から何か御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御発言もないようでありますので、お諮りいたします。

本件については、5事業程度を調査することとし、当局から報告をいただく事業の選定については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で、本日協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして総務政策委員協議会を閉会いたします。御苦労さんでございました。

閉会 午前10時27分